

# ACIC年次フォーラムⅦ

平成26年5月31日(土)



**JHITA**

特定非営利活動法人  
日本補聴器技能者協会

理事長 阿部 秀実



# 2013 HHP研修会のご報告

# HHP 研修会

Hearing Healthcare Professional  
(ヒアリングヘルスケアプロフェッショナル)



## ～ご案内～

### 第1部「1日で覚えるマスキングの基礎」

～HHP カテゴリー2～

マスキングのダイヤル値って聴力+10dB?15dB??  
解っているようで難しいマスキング!理論の基礎を学びます。

講師: 前川直子 (テクノエイド協会)

### 第2部「美しい補聴器技能者になろう

資生堂に学ぶ接遇」

～HHP カテゴリー1～

快適な補聴器フィッティングを提供するためにお客様からの  
好感度アップをねらいます。女性も男性も美しく♪  
資生堂のお土産つき♪

講師: 株式会社 資生堂

日時: 平成25年7月13日(土曜)  
13時～16時半

場所: 仙台青葉カルチャーセンター  
(JR仙台駅から徒歩7分)

受講料: 会員3000円 非会員8000円  
(HHPメルアド登録者は5000円)

お申し込みは日本補聴器技能者協会事務局まで  
(裏面をご参照ください)

HHPは  
補聴器を使う人々のQOL向上のために  
常にスキルアップを目指す補聴器技能者  
総称です

HHPプログラムでは補聴器フィッティング  
軸となる

1. ニーズ掌握・店舗運営に必要な基礎知識
2. フィッティング現場の聴こえの測定
3. 補聴器選択と調整ノウハウ
4. 効果測定と分析
5. 継続使用の為の装用ケア

の5つのカテゴリーを掲げ、それぞれにHHP  
研修会を行っています。



Hearing Healthcare Professional

Hearing Healthcare Profession

Hearing Healthcare Prof

Hearing Healthcare

Hearing Health

# HHP 研修会

Hearing Healthcare Professional  
(ヒアリングヘルスケアプロフェッショナル)



## ～ご案内～

### 第1部「1日で覚えるマスキングの基礎」

～HHP カテゴリー2～

マスキングのダイヤル値って聴力+10dB?15dB??  
解っているようで難しいマスキング!理論の基礎を学びます。

講師: 前川直子 (テクノエイド協会)

### 第2部 The MiMi Tribune Cafe

参加者同士の情報交換の場です。  
日常の疑問、悩みも解消しましょう。  
(お茶とお菓子を少々ご用意します。)

日時: 平成25年7月27日(土曜)  
第1部 13時～15時半  
(終了後、第2部～16時半)

場所: テクノエイド協会 会議室  
(JR飯田橋駅 セントラルプラザ4F)

受講料: 会員 3000円 非会員 8000円  
(HHPメルアド登録者は5000円)

お申し込みは日本補聴器技能者協会事務局まで  
(裏面をご参照ください)

HHPは  
補聴器を使う人々のQOL向上のために  
常にスキルアップを目指す補聴器技能者  
総称です

HHPプログラムでは補聴器フィッティング  
軸となる

1. ニーズ掌握・店舗運営に必要な基礎知識
2. フィッティング現場の聴こえの測定
3. 補聴器選択と調整ノウハウ
4. 効果測定と分析
5. 継続使用の為の装用ケア

の5つのカテゴリーを掲げ、それぞれにHHP  
研修会を行っています。



Hearing Healthcare Professional

Hearing Healthcare Profession

Hearing Healthcare Prof

Hearing Healthcare

Hearing Healthca

# 実技研修会

## <聴力測定>

聴力測定の実技研修会です。  
全体講義にて注意点等を確認したあと、  
班分けして、レベルに合わせた少人数制（10名限定）  
の実技研修を行います。



開催日時：平成 25 年 7 月 25 日（木）

13:00 ~ 16:30

場 所：一般社団法人 日本補聴器販売店協会 会議室  
（〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-11-1 島田ビル 6 階）

定 員：10 名程度（※定員になり次第締め切らせていただきます。）

主 催：NPO 法人日本補聴器技能者協会

受講料：会員 15,000 円

非会員 18,000 円

※同時入会も会員扱いになります。事務局までお問い合わせください。

振込先：郵便振替 00180-1-299580

ゆうちょ銀行 〇一九店（セブイレ店） 当座 0299580 ジェイテックツウカイ

※手数料は貴下にてご負担ください。

申込締切：平成 24 年 7 月 5 日（金）

定員になり次第締め切らせていただきますので、早めにお申込みください。

申込方法：申込書にご記入の上、受講料納入の証明（受領書や明細書等のコピー）を添えて、  
下記事務局まで FAX、郵送、E-mail いずれかの方法で送付してください。

お問い合わせ先：NPO 法人日本補聴器技能者協会 事務局

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-11-1 島田ビル 6F

Tel : 03-3258-5575 Fax : 03-3258-9033 E-mail : [query@npo-jhita.org](mailto:query@npo-jhita.org)



# HHP研修会

Hearing Healthcare Professional  
(ヒアリングヘルスケアプロフェッショナル)

～ご案内～

## 米国で活躍する HHP 達から学ぶ 海外情報

～HHP カテゴリー1～

講師: Alan L. Lowell 氏  
Leanne E. Polhill 氏  
Chris Gustafson 氏

(通訳付き)

### ●神戸開催

日時: 平成 25 年 11 月 2 日(土曜)  
11:00～17:30

場所: 神戸芸術センター 604 号会議室

### ●東京開催

日時: 平成 25 年 11 月 4 日(月曜)  
11:00～17:30

場所: TOC 有明 コンベンションホール E5

受講料: 会員・準会員: 6000 円 非会員: 10000 円

申し込みは、申込用紙(別紙)をご利用ください。



HHPは、補聴器を使う人々のQOL向上のために、常にスキルアップを目指す補聴器技能者の総称です。

HHPプログラムでは補聴器フィッティングが軸となる

1. ニーズ掌握・店舗運営に必要な基礎知識
2. フィッティング現場の聴こえの測定
3. 補聴器選択と調整ノウハウ
4. 効果測定と分析
5. 継続使用の為の装用ケア

の5つのカテゴリーを掲げ、それぞれにHHP研修会を行っています。

Hearing Healthcare Professional

## HHP 研修会 カテゴリー1

### 米国で活躍する HHP 達から学ぶ海外情報

#### 講演1. 午前 11:00-12:30



#### Little Things Can make a Big Difference

「些細なことが大きな違いを生む」

講師 Alan L. Lowell, BC-HIS, ACA

米国トップスペシャリストが語る「HHP として心得ておきたい事、補聴器の将来を担う人達へ」

日本の皆様こんにちは。日本は補聴器供給システムにおいて米国と似ています。風土的、制度的違いを踏まえながら、私がアメリカで培ってきたことをお話します。皆さんと会えるのを楽しみにしております。

【Alan Lowell】IHS 会長、副会長を歴任。補聴器業界のエキスパート

#### 講演2. 午後 13:30-14:30



#### Women Dispensing Professionals

「来るべき女性補聴器スペシャリスト時代」

講師 Leanne E. Polhill, BC-HIS

“顧客の意思決定に貢献する女性ならではのアプローチ、顧客ケアと店舗マネージメントにおいて女性が果たす役割”

日本の女性 HHP の皆さん、この講演は、女性 HHP がその自然さ、有用性、工夫に富んだ戦略、信頼性、感情移入などにスポットを当て、如何にしてその特有の強みを活かして顧客ケア及び店舗マネージメントの分野で活躍するかをお話します。

【Leanne E. Polhill】フロリダ州補聴器スペシャリスト委員会会長

#### 講演3. 午後 14:45-16:15



#### Being the Professional, Growing our profession

「プロとして、より専門性を高めること」

講師 Chris Gustafson, BC-HIS, ACA

“プロの HHP として、顧客の役に立つための実践”

聴こえの不自由者の QOL 向上には適切な補聴器を提供する HHP の確固たる自立が不可欠です。その為に日々どのような心構えて、どのような活動をすべきか、私の体験に基づいてお話します。皆さんとのディスカッションも楽しみにしております。

【Chris Gustafson】IHS 会長、副会長を歴任。IHS 国際大使

午後 16:30-17:30

## 日米補聴器サミット海を越えて相違と類似性から見えてくるもの “より良いスペシャリストを目指して”

日米のパネリストたちが、ディスカッションします。会場からの参加も大歓迎。

### EVENT1 「アメリカのトップHHPと一緒に写真を撮ろう！」

講師たちと写真撮影ができる特設ブースを設置します。  
プロフェッショナルの一員である証として、あなたのお店に掲示しましょう。  
時間に限りがありますので、ご希望の方は申し込み時にご予約ください。  
(撮影は昼食休憩および17:30~17:50に行います。)



### EVENT2 「ALAN LOWELL SEMINAR 修了証授与」

講演1を受講された方に、講師が米国で主催している「ALAN LOWELL SEMINAR」の  
日本版修了証が授与されます。そのため申し込み用紙にはお名前のローマ字表記をお願いします。  
準備のため、10/15までに申し込みされた方を優先させていただきます。

### 【申し込み】

今回の講演は、IHS日本支部による「IHSセミナー2013」と共通です。講演には通訳がつきます。  
申し込み受講料でセミナーすべての講演を受講できます。  
IHS日本支部からも申し込みできますが  
HHPプログラムとして受講する場合は日本補聴器技能者協会からお申込みください。  
申し込み締め切りは10/20です。それ以降の申し込みについては事務局にお問い合わせください。

### 【HHPプログラム】

講演1~3がHHP研修会となります。1つでも受講すれば、カテゴリー1の受講スタンプ・修了証を発行します。HHP登録がまだの方は、申し込み時にご登録ください。  
(HHP登録は日本補聴器技能者協会・資格認定会員に限ります。)

### 【特典】

7月HHP研修会記録資料「補聴器フィッティングのための聴力測定～マスキング～」を差し上げます。

### 【昼食受付】

弁当(¥1000)を事前受付いたします。ご希望の方は申し込み時に同時にお支払ください。

## INFORMATION

- 神戸開催ではThe MIMI Tribune CafeをOPENします。リラックスしながら、情報交換しましょう。
- 日本補聴器技能者協会・教育研修委員会では、補聴器販売に携わっている女性を支援するために、女性会議「Je m'appelle(ジュ・マペール)」を発足いたしました。女性会議は、女性同士が気軽に交流・情報交換を行うことにより、スキルアップを目指すことを目的としております。女性HHPの皆さん、神戸、東京でお会いしましょう。



## HHPは

補聴器を使う人々のQOL向上のため常に  
スキルアップを目指す補聴器技能者の総称です。

**HHPプログラム** は補聴器フィッティングの軸となる

1. ニーズ掌握・店舗運営に必要な基礎知識
2. フィッティング現場の聴こえの測定
3. 補聴器選択と調整ノウハウ
4. 効果測定と分析
5. 継続使用の為の装用ケア

の5つのカテゴリーを掲げ、  
それぞれに**HHP研修会**を行っています。

# 「販売店における補聴効果の確認法」を制定

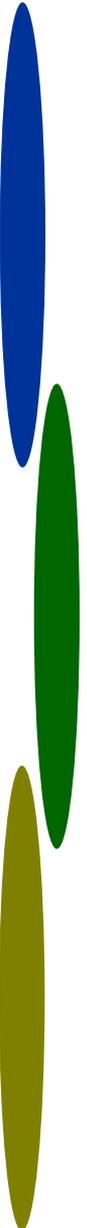
- ・ 平成25年6月に『販売店における補聴効果の確認法』を制定しました。
- ・ 日本補聴器販売店協会と協力し全国で講習会を開催いたしました。

販売店における補聴効果の確認法

平成 25 年 6 月

特定非営利活動法人日本補聴器技能者協会

**自立生活援には  
「聞こえの保障」がかせません！」**  
補聴器による聞こえの保障を通じて  
個人の尊厳を守りましょう



# 補聴器装用によって 軽度認知症高齢者及び要介護者の QOL改善は得られるか？

## 実施施設名

老人保健施設 ほほえみ三戸  
(青森県三戸郡三戸町)

# ケース1

## ●対象者

- ・氏名:T・K(女性)
- ・生年月日:T13. 4. 7
- ・短期入所:平成25年12月16日~31日
- ・入所:平成26年1月1日~
- ・要介護度 3

## ●疾患名

- ・第2腰椎圧迫骨折(H25.11.18)
- ・脳梗塞後遺症 左不全麻痺(H20.1)
- ・第11腰椎圧迫骨折(H22.10)
- ・アルツハイマー型認知症(H20.1)

## ●生活歴

施設同町に生まれる。

後妻として嫁ぎ、二人の実子を授かる。

農業に従事。以前は、前妻の長女家族と同居。

## ●既往歴

H25年3月頃までは自宅でT字杖を使用し歩行していたが、4月血圧管理等のため入院加療。廃用症候群が進行し在宅復帰が困難となり、短期入所施設での生活を送る。その短期入所期間中に転倒、第2腰椎圧迫骨折との診断を受け入院加療。廃用症候群増悪、当施設入所となる。

## ●入所前の家族のコメント

家では比較的寡黙で、必要なこと以外自分から話しかけることはなかった。

他の人と会話を楽しむタイプではないと思う。

短期入所施設は個室だったので、黙って過ごしていた。  
テレビも見ようとはしなかった。

## ●入所経過と観察

第2腰椎圧迫骨折入院加療中、廃用症候群増悪のため、自宅への退院は困難であり、更に家族の介護力不足もあり当施設に入所。

入所当初は「もう、何のことも面倒に感じる」

「腰もいたいから、何もしたくない」

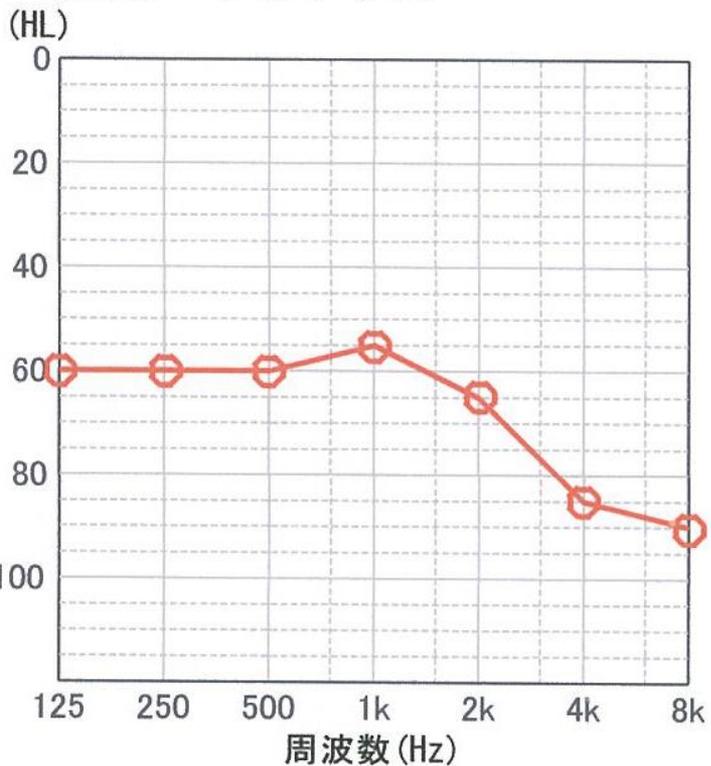
「家族に迷惑をかけるから、家には帰らなくていい」等生活意欲に欠ける言動が多かった。

## ●補聴器導入のきっかけ

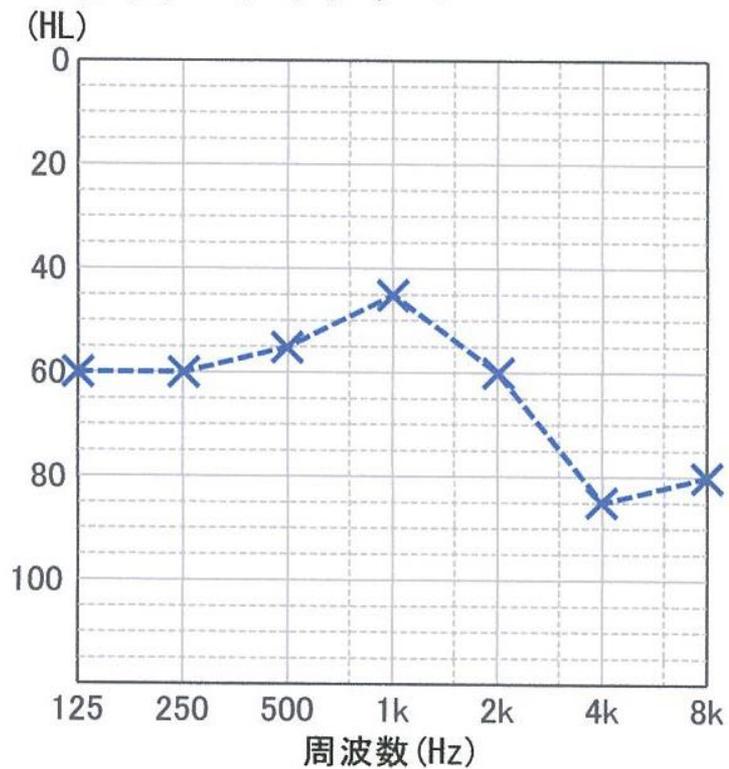
腰や下肢のリラクゼーションをしている最中、話しかけても反応がなく、耳元で話す必要があった。

補聴器を装用することでOTの話すことが聞き取ることが出来、内容を理解することが出来るようになったら1対1のリハビリ中、会話量を増やすことが出来るのではと思った。

### 右耳オーディオグラム



### 左耳オーディオグラム

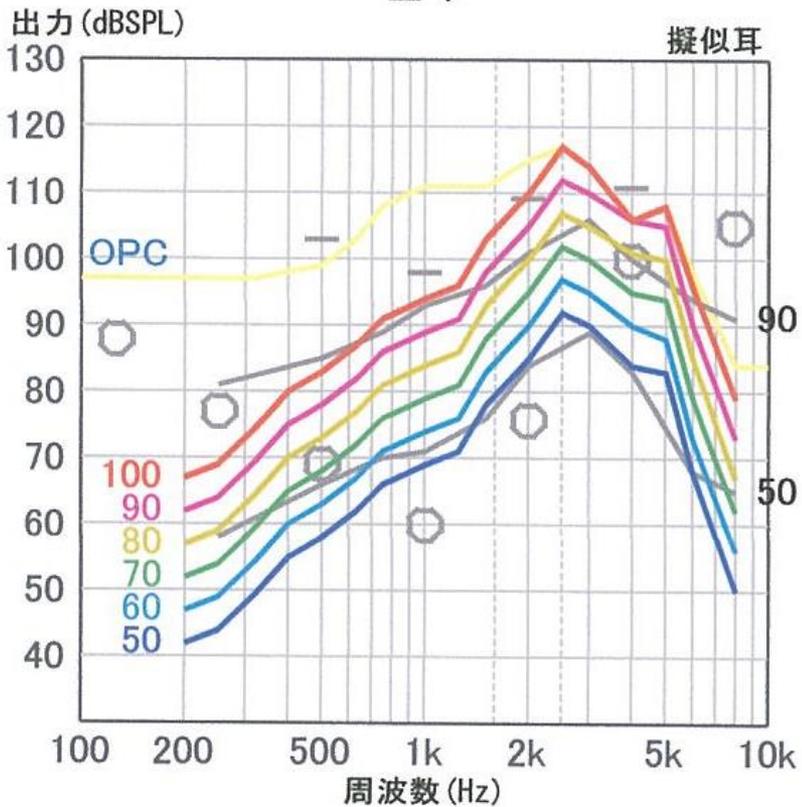


## オーディオグラムについて

- 測定場所が施設ホールの比較的静かな環境を選んだが周囲の騒音が多く、骨導測定は被検者の反応が一定しないため途中で中止する。
- 125Hz～500Hzの測定値はそれぞれ20dB上方修正して補聴器フィッティング。

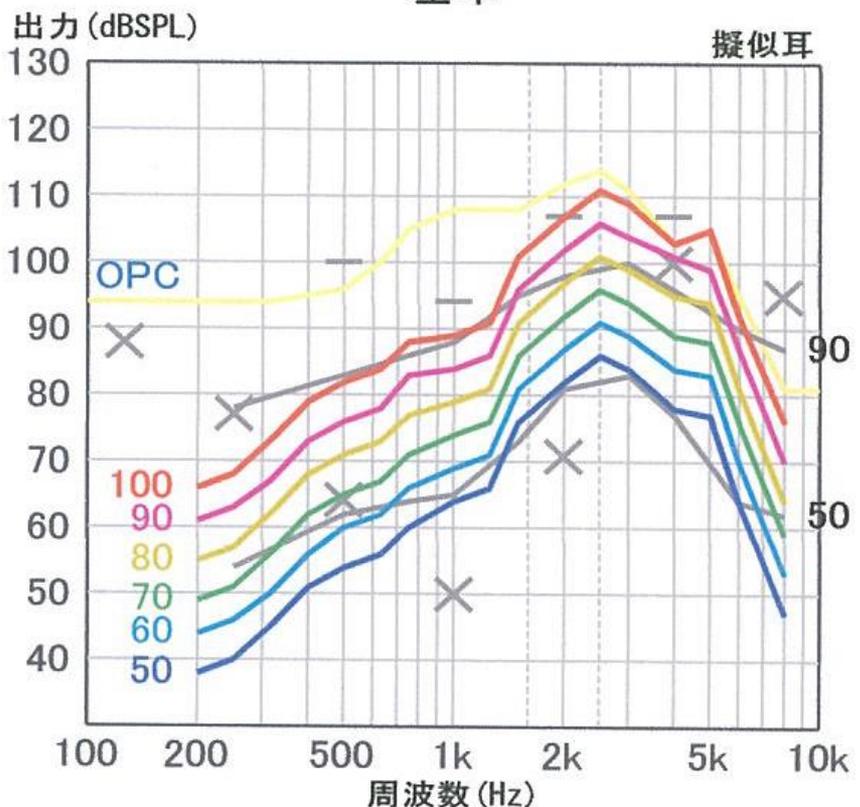
# 右耳

調整メモリー：A  
 基準



# 左耳

調整メモリー：A  
 基準



## ●補聴器装着時間・頻度

- ・補聴器装着開始日：平成25年12月27日
- ・補聴器装着頻度：3.42回／週
- ・補聴器装着時間及び場所：  
リハビリ訓練ベッド上  
平行棒内歩行練習時  
ホールで過ごす時間帯

## ●補聴器装用前後のテスト結果の比較

	H25.12.27	H26.1.4	H26.4.11
日常生活行動 FIM	44 / 126	44 / 126	65 / 126
知的機能面 HDS-R	9 / 30	12 / 30	16 / 30
知能検査 MMSE	—	17 / 30	20 / 30

## ●結果

- ・ADL能力の向上、知的機能面での改善あり。
- ・装用前は車椅子座位30分が限界でほとんどの時間をベッド上で過ごしていたが、会話量の増大と身体機能の回復が相まって、日中ホールで過ごす時間が増え、他入所者と会話することが出来るようになった。
- ・面会時家族から  
「会話が成り立つので助かる」  
「こんなに話す人だったんだね」  
等好評を得る事が出来た。

## ●まとめ

廃用症候群によりベッド上での生活を強いられ、今後の生活を無為なものになると一時は諦めるような発言があったが、現在では日中ホールにてテレビ観賞をして過ごしたり他入所者やスタッフと冗談を話せるようになり廃用症候群増悪防止や、閉じこもりによる認知症進行予防を図ることが出来たと思われる。

更にはADL能力や知的機能面の改善により、QOLの向上が図られたと思われる。

また、当初は聞き取りの能力が悪く、他者に関心が低い方としてアセスメントしていたが、補聴器装用により「聞こえる」と言うことが、聴覚機能や精神的な側面を賦活することに関与することが出来たと推測する。

## ●今後の課題

「自分に声量がないため会話が長続きしない」との訴えがあり、発生量の拡大を目的に体幹筋力の向上を目的とした練習や昔の音楽を聴きその歌詞を思い出して歌うというプログラムを実施している。

本人の希望を達成する事で施設内におけるQOLの向上が得られる様支援する。

# ケース2



## ●対象者

- 氏名：S・M(女性)
- 年齢：90歳
- 入所：平成26年1月1日～
- 要介護度 3

## ●疾患名

- 認知症
- 脳梗塞後遺症 左不全麻痺
- 胸椎圧迫骨折 廃用症候群
- 高血圧症

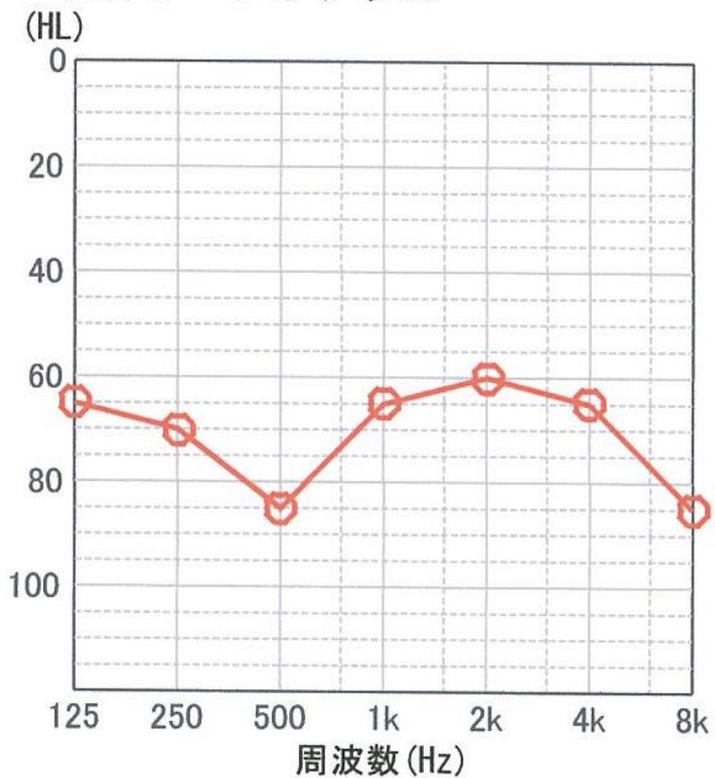
## ●補聴器導入まで

- ・耳元で話しかける事でコミュニケーションは成立
- ・会話を楽しもうとする意欲あり。笑い話し好き。
- ・他入所者との会話成立困難なため交流が少ない。
- ・テレビの音は聞こえないため、画面を目で追っている。

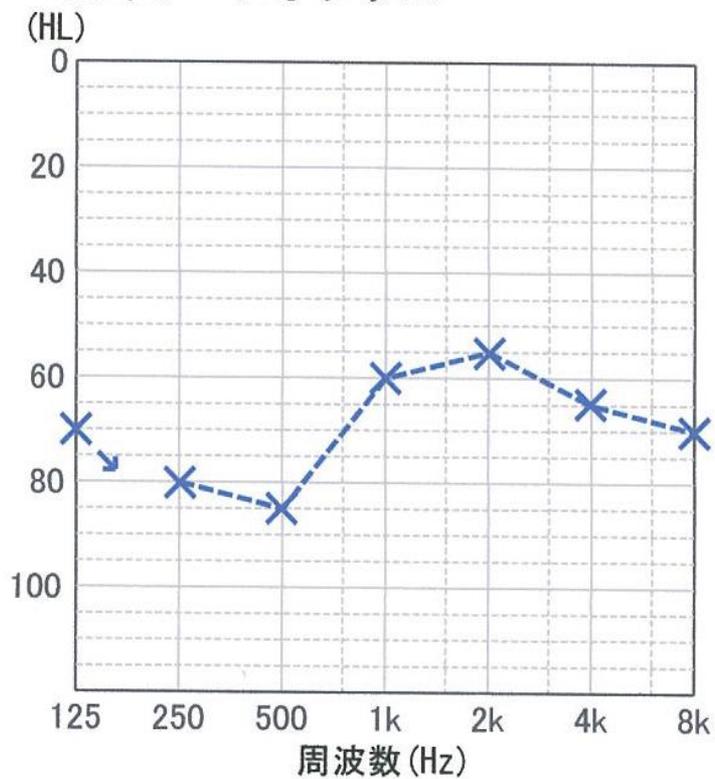


聞こえる事で生活場面や認知症改善につながるかを試したい。

### 右耳オーディオグラム

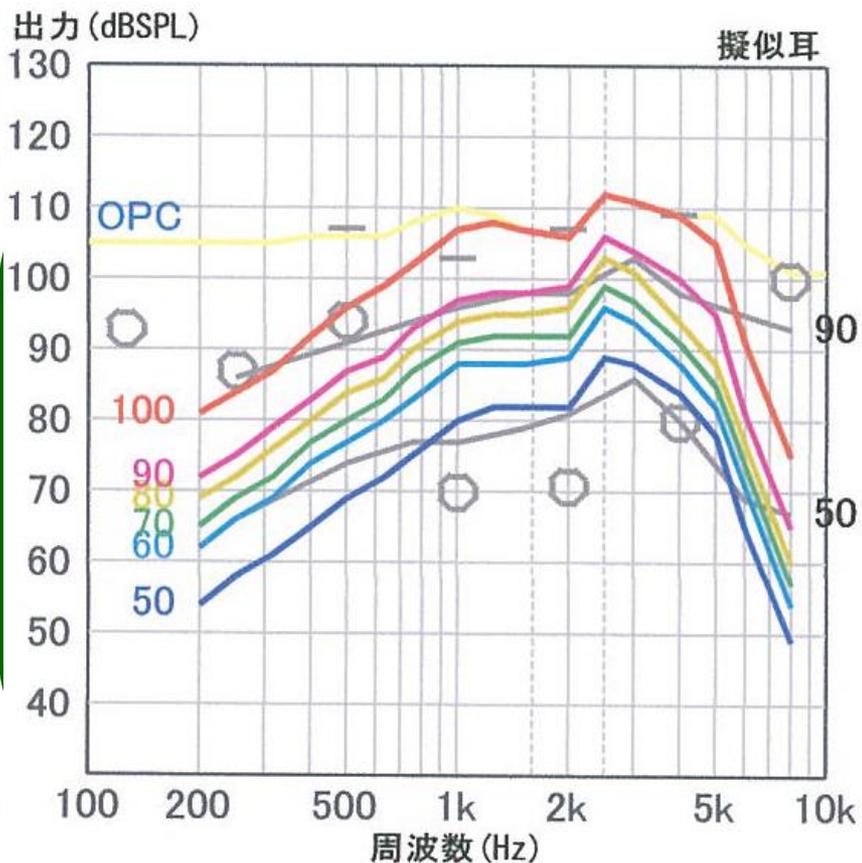


### 左耳オーディオグラム



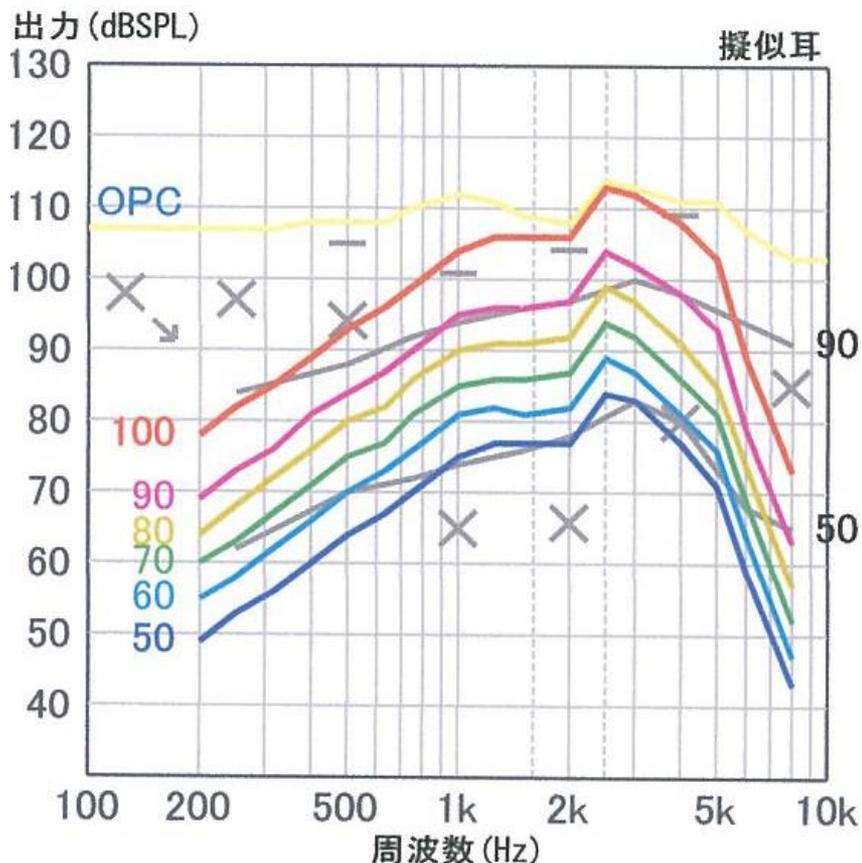
# 右耳

調整メモリー：A



# 左耳

調整メモリー：A



## ●補聴器装用後の経過(1)

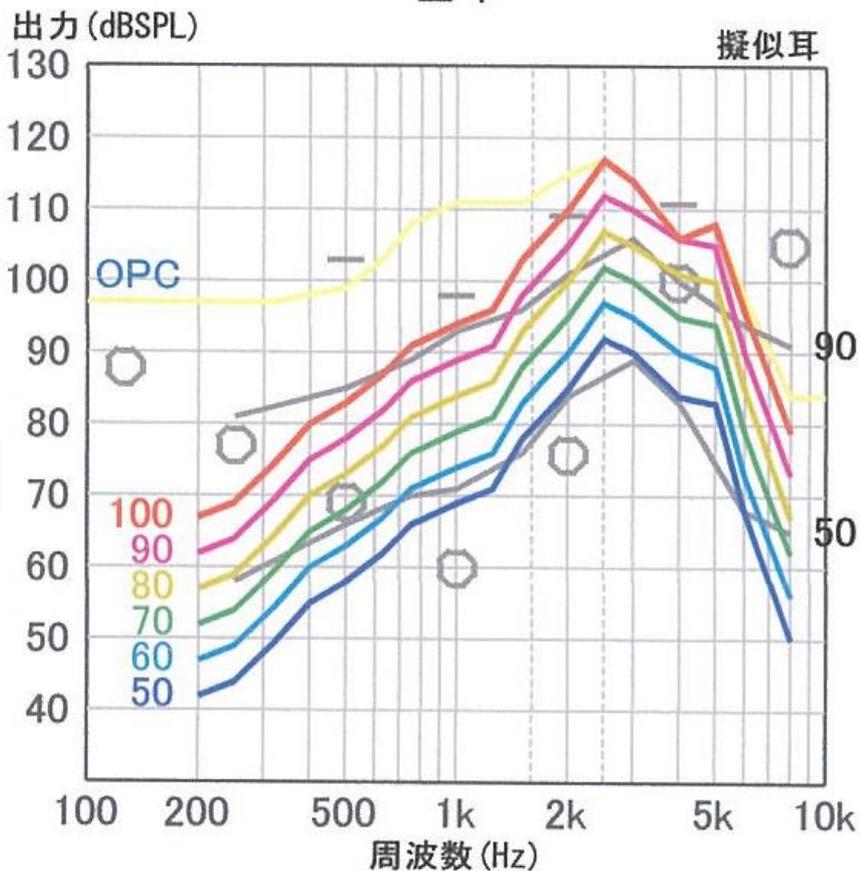
- 補聴器装用開始日：平成25年12月27日
- 性格上新しい事や面倒な事を苦手とする傾向があり装着のアプローチをするも強く拒否される事もあった。最初は10分位から始めたが、機嫌を損なわないよう声かけの工夫が必要だった。
- 1月に入り慣れてきたのか強い拒否は見られなくなり、週2～3回のペースでスムーズに装用できるようになった。また、「聞こう」意識が強くなってきたためか周囲の雑音を気にする訴えや強大音に苦痛の表情をする様になってきた。

## ●補聴器装用後の経過(2)

- 3月10日新たな器種と交換、再調整を実施。
- 以後雑音の訴えや苦痛表情はほぼ見られなくなり、他入所者とホールでテレビを見たり会話を聞きながら話している人を目で追ったり穏やかに過ごしている。

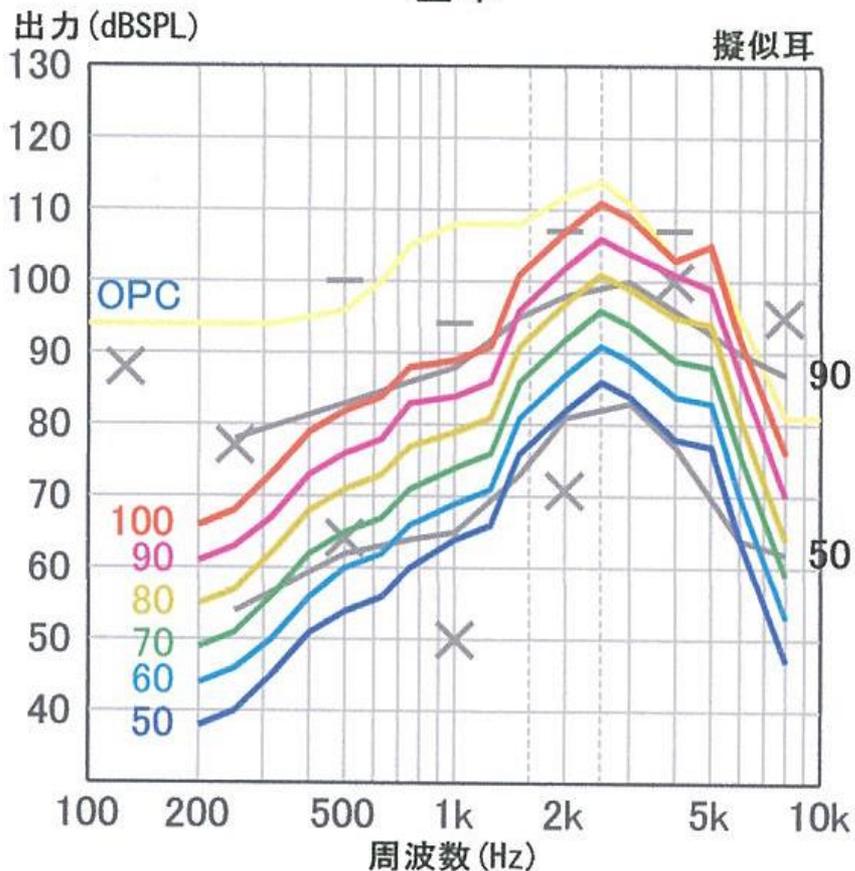
# 右耳

調整メモリー：A  
 基準



# 左耳

調整メモリー：A  
 基準



## ●補聴器装用前後のテスト結果の比較

	H25.4	H26.4
知的機能面 HDS-R	10/30	15/30
知能検査 MMSE	10/30	22/30

## ●まとめ

- ・面会家族とのコミュニケーションがスムーズになり「今までは筆談で会話していたのに普通に話に通じて驚いた」との評価を得る事が出来た。
- ・学習療法時にも装用させているが、指示が入りやすく音読時の発語がはっきりし声量もアップした。
- ・唱歌を笑顔で歌う様子も見られるようになった。

## ● 今後の課題

現在、週3～4回の頻度で装用が継続できているが、担当者が日中の勤務にあたらぬ日が続くと装用のアプローチが出来ない週もあり今後の検討課題である。また、電池切れに気付かず装用させ本人から指摘を受けることもあり、日常点検、始業点検の必要性を痛感した。

今後は日常点検を含め、メンテナンスについて学ばなければならないと思う。

以上2例を施設担当者からの報告書を再構成しご報告させていただきました。

現在は別に3名に補聴器をフィッティングし観察中です。

今後も月1名を目標にフィッティングする予定です。

また、機会がございましたらご報告させていただきます。

**ご清聴ありがとうございました。**